

令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校 第2学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて自分の考えを書く力。 文章を書く上で適切な助詞を用いて書く力。 文学的文章において内容を読み取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導、作文指導等、「書く」機会を意識的に増やすよう心掛ける。 ペアやグループで登場人物の心情について話し合う機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 要約、意見文、感想文など、書く機会を増やし、互いに読み合うことで、様々な考えを述べるようになってきた。 ペアや班で意見を述べ合う機会を増やしたことで、気兼ねなくスムーズに話し合いが行われている。伝え合う機会を、継続して増やしていった。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで考えようとする姿勢の育成 思考・表現力及び資料活用能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資料等を活用し、多角的な見方を促すとともに、感染症対策を十分に図りながら、小集団による活動の場を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料等の活用については、ICT機器による提示が効果的だった。 感染症対策もあり、小集団活動の場を増やすことができず、学習を深めることはあまり出来なかった。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着 家庭学習の習慣化 数学的な見方・考え方の問題を解く力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算問題等に数多く取り組ませる。 家庭で取り組める課題を適度に与える。 話し合い活動に繋がるような課題を設定し、考えを互いに伝え、共有し、発表する場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査の際に、予告問題を提示し、苦手な生徒もテスト勉強に取り組み、基礎基本を身に付けてることに繋がった。 授業後にワークを使って復習するように課題を出し、少しずつ家庭学習も習慣化されてきている生徒もいる。 話し合い活動の場面をより多く作り出せるよう授業を工夫する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 関心をもって意欲的に学習に取り組み、課題を解決しようとする姿勢の育成。 自然事象に対してや、実験観察等で得られた結果に対しての、科学的なものの見方や考え、考察する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関係する身近な事象を話題にとり上げて学習への興味関心を高め、自ら進んで課題に向かう機会を設ける。 授業で使用するワークシートで、実験観察時の現象のポイントを明確にし、理論立てた考察がしやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の日常生活との結びつきを考えたり、生活の中で得た知識を発表するなど、関心をもって授業に向き合うことができた。実験観察にも積極的に取り組めたが、特に定量的な考察を苦手とした生徒が少なからずいた。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、歌唱を伴う授業の際の制限や、マスク着用での歌唱における、生徒の発声法の確認の不十分さや、生徒の表現意欲低下。 クラス単位でしか歌ったことのないことにより、校歌などの歌唱意識の低下。 ICT機器を活用した学習、取り組みの研究。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱に関しては、生徒間の距離を保ち歌唱すること。 模範的な合唱の動画を鑑賞することで、より良い発声法を考えさせ、理論的により良い発声法を理解させる。 ICT機器を用い、表現の探求や、幅広い鑑賞教材を授業で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインで作成する作曲ツールが、オンライン学習で非常に有益なソフトであった。生徒の創作の意欲が高まり、音楽に関する興味・関心が非常に高まった。 合唱・歌唱への取り組みが全く積み重ねられていない。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 道具や材料を上手に活用し、質の高い作品を制作する生徒もいる中で、これらの活用の経験が乏しく作品制作の成功体験の少ない生徒も多いのが現実である。 また、文字や言語に関するイメージから視覚的なイメージにつなげるものや、一つのイメージから枝葉を広げて多岐にイメージを広げる制作活動に、重点的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で扱わなかった道具などは、使い方や手入れの仕方をきちんと伝え、その道具の持つ本来の効果が感じられる場面を増やしていく。また、すでに経験したことのある技法でも、それをどう生かしていくかを工夫させる。 形にないものを視覚的に共有できるイメージにつなげていく過程で、ピクトマップや、生徒同士の意見の交流の場を活用し、制作につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字や言語のイメージから視覚的なイメージにつなげる手立てとして、ICTも活用することができ、より深く表現できた生徒が多かった。一方で、得られた情報をそのまま作品にしてしまう生徒もおり、活用方法について一層指導の必要性も感じた。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に運動能力が低い。 昨年に比べて積極性は増したが、種目によっては消極的になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 補強やトレーニングを授業内で取り入れ、体力向上に努める。 仲間と教え合いの機会を増やし、授業を活性化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> まだまだ基礎的な体力が低いので、さまざまな運動に取り組みさせていく必要がある。 少しずつではあるが友達と一緒に取り組む姿勢が見られてきた。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> (技術) 昨年に比べて授業への集中力が向上したが、能力の開きは感じる。 手先の器用でない生徒が少なくない。(家庭科) 関心や意欲の度合いに差があり提出課題がそろわない 今年は調理実習をやっていないので体験学習の技術面・協力面の指導が不十分になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> (技術) Chromebookの活用。 反復練習用の課題に盛り込んだ。(家庭科) 課題学習を取り入れ、意欲を高めるようにする。 実習内容を理解させるよう教材を工夫し、見本を取り入れて意欲を持たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> (技術) 年度当初よりChromebookを活用していたこともあり、オンライン授業でも混乱なく授業を実施できた。エネルギー変換の学びでは反復練習により成功体験を積ませることができた。(家庭科) コロナ禍で食物領域の実習をできなかったもので、意欲、関心を高める工夫をした。提出課題の内容も高まり、関心はあると思う。
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ内容の定着。授業での言語活動や音読活動がよい加減になっている生徒がいる。 まとまりのある文を読んで情報を得たり、得た情報をもとに様々なことについて考える力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察だけでなく定期的にパフォーマンステストを行う。 ペアやグループで課題について取り組むための時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に学習した内容を確認するテストを行い、達成度を生徒が確認できるようにした。特に話す活動や書く活動は日頃の授業で行っていたことから生徒の苦手意識低下につながった。 まとまった文章を読むことは苦手意識を持っている生徒が多いので、じっくりと読み、内容の概要を理解することができるよう授業で取り組んでいく。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的な課題を一人ひとりが自分自身の問題と捉え、向き合うこと。 他者との関わりの中で、物事を多面的・多角的に考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分を振り返って成長を実感できるような課題を提示する。 自分の考えを表現しやすくなるように授業形態を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の話題とのつながりを意識した教材の提示により、自分事として考えられていた。 授業形態の工夫により、お互いの考えの違いを知ることができ、視野を広げることに繋がった。

<p>総合的な学習の時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え行動する力。 ・情報をつかみ活用する力。 ・SDGsの学習を深化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の準備等では、1人ずつ役割を与え、実行させる。 ・調べ学習や行動計画を立てる際に、chrombookを積極的に活用させる。 ・昨年に引き続きSDGsの学習を進める。校外学習でNPO等を訪問するなど、学習の深化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習では、電車事故のために行程を変更する必要に迫られたが、日頃の学びを生かして臨機応変に行動することができた。 ・chromebookを使って調べたり、スライドにまとめたりする学習で、情報を活用する力がついた。 ・NPO訪問により、SDGsの学習を深化させることができた。
------------------	---	---	---